



風しんの追加的対策 抗体検査実施促進の取組について

武田薬品工業株式会社
2024年1月

タケダにおける抗体検査促進および啓発の取組



抗体検査実施率（推定）

54.9%（2023.3月時点）

2021-2023

対象者へのアンケート実施
+フィードバックレポート送付



2019～現在
健診案内時
クーポン持参リマインド



2022-2024

トップからのメッセージ
社内広報媒体での啓発
従業員向けイベントでのレクチャー 等

2023

健保組合冊子への啓発記事掲載



2023

アンケート未回答者対象
健診后面談等での個別確認

2019

2020

2021

2022

2023

2024

武田薬品工業株式会社にて作成

得られた知見

- ✓ 風しん第5期定期接種開始時（2019年）の提起の通り、対象者が抗体検査を受けやすいよう、健診時に同時に受検できるようにしたことは、対象者にも歓迎される施策であったことが示唆された
- ✓ 政府広報や自治体からの通知によっても、対象者の抗体検査受検に繋がっていたことが確認された
- ✓ 対象者への抗体検査受検のリマインドと、アンケートおよびフィードバックレポート送付を繰り返し実施することで、一定の行動変容を促した
- ✓ 得られた結果からは、社内診療所の有無はクーポン券利用に大きな影響を及ぼさなかった
- ✓ 社内対象者の4割弱がアンケート未回答であるなど、課題が残った
- ✓ 対象者は風しん予防の必要性について認知されていないことがほとんどであり、適切に理解されることで行動を促すことが示唆された
- ✓ アンケート未回答者に対して、健診後の個別面談時等に抗体検査受検有無の確認を進めている途中であるが、メールや啓発目的でのアンケート結果送付に限らず、関係部門と連携をし、複数の手段を地道に継続して講じることが必要

残った課題

- ✓ 関心が高くない・連絡が取れない対象者に対して届くメッセージやアプローチ方法
- ✓ どの事業場、業種の社員であっても判断に必要な情報や知識を得る機会の創出

今後の取組

- ✓ 2023年に開始した、健診後個別面談等での確認を継続し、実態と課題を整理し最終年度の対策を検討する

注；取組で実施したアンケート調査は認識に関する実態把握と啓発を目的とした活動の一環として行われたものであり、学術的調査として計画・実施されたものではありません。

タケダにおける抗体検査促進および啓発の取組



抗体検査実施率（推定）

54.9%（2023.3月時点）

2021-2023

対象者へのアンケート実施
+フィードバックレポート送付

2023

アンケート未回答者対象
健診後面談等での個別確認

2022-2024

トップからのメッセージ
社内広報媒体での啓発
従業員向けイベントでのレクチャー 等

2023

健保組合冊子への啓発記事掲載

2019～現在

健診案内時
クーポン持参リマインド

2019

2020

2021

2022

2023

2024

武田薬品工業株式会社にて作成

健診案内送付時に、風しん第5期対象者にクーポン券持参を呼び掛け



- ✓ 定期健診の案内送付時に、風しん第5期対象者には右記の文書を同封
 - ※ 社内対象者のうち、社内診療所を利用できる者
- ✓ 風しん第5期定期接種の対象者であることの通知とともに、健診時の抗体検査受検を推奨
 - ※ 社内診療所等、会社が指定した会場で健診を受ける対象者は、クーポン券を使用しての抗体検査受検が可能

- ✓ 2019年9月より右記文書を同封、抗体検査受検の促進が期待されたが、2020年からの新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、健診実施にも影響があり、抗体検査受検の推進が滞った
- ✓ 社外の医療機関でクーポン券を使用して抗体検査を受けた場合は、把握できない
- ✓ 対象者全員に抗体検査を受けてもらうために、実態把握や課題の整理、対策の検討が必要となった

社内対象者へのアンケート実施を計画

(この用紙が届いたあなたが対象です)

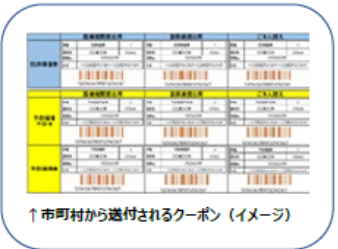
風しんの抗体検査はお済みですか？

無料クーポンが
利用できます

厚生労働省による風しん感染拡大の防止施策として、公的な接種を受ける機会がなかった男性を対象に風しん抗体検査・ワクチン接種の無料クーポン券が自治体より発送されています。
結核予防会の定期健診時にそのクーポン券を持参いただけますと、風しん抗体検査を合わせて受けることができますので、この機会にぜひ受検くださいますようお願い申し上げます。

- 対象者
1962（昭和37）年4月2日～1979（昭和54）年4月1日生まれ男性
(注意) 健康診断の当日にクーポン券を提示しなければ、風しん抗体検査は受けられません。

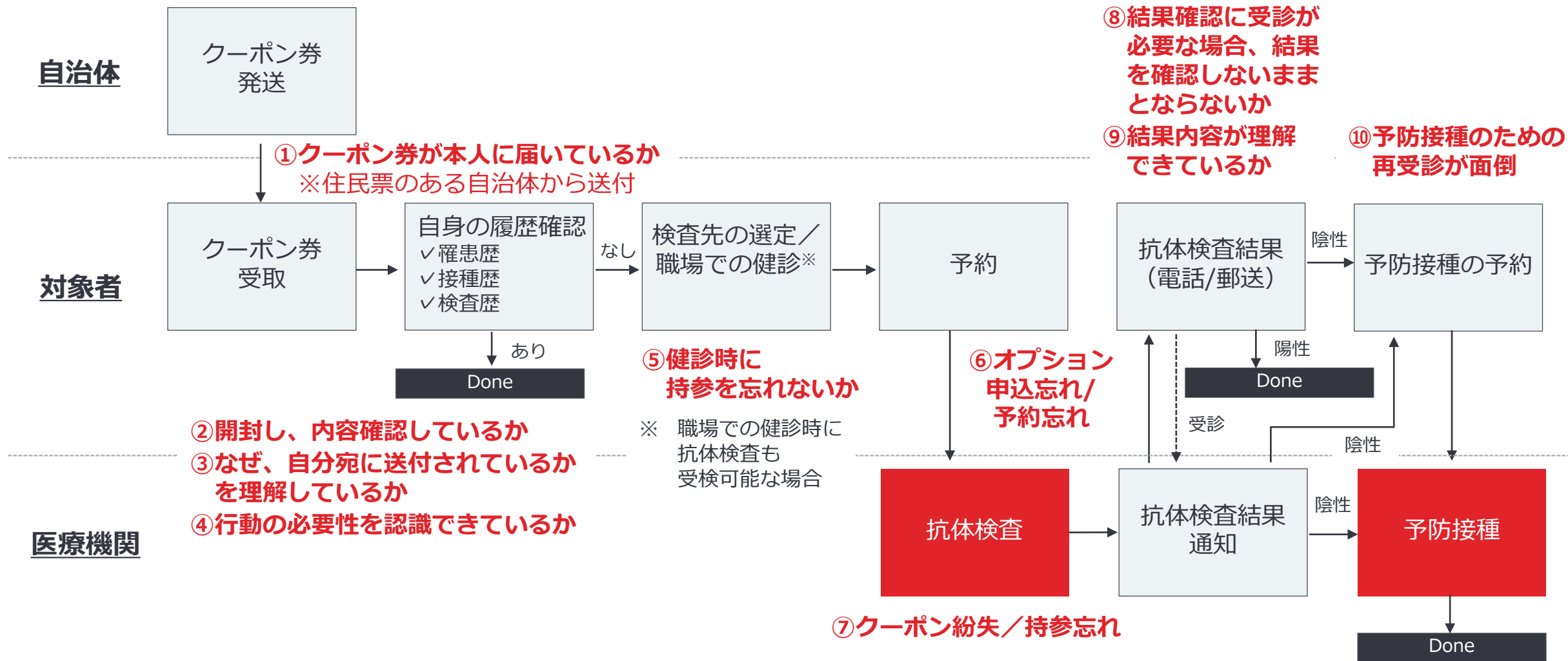
- クーポン券について
 - 住民票がある市区町村からクーポン券が届きます。
 - 2025年3月31日まで抗体検査・予防接種を公費で受けられます。
 - 引越された方、クーポン券が届いたか不明・紛失された方は
お住まいの市区町村にお問い合わせください。



- クーポン券を利用した抗体検査の結果送付とワクチン接種について
結果は自宅宛てに郵送され、ワクチン接種が必要な場合には「定期接種対象（抗体なし）」と表記されていますので、予防接種（原則無料）を受けてください。
※ ●●●●は予防接種を実施しておりますが、必ず事前に電話連絡をしてください。
(TEL: XXX-XXX-XXXX)
- 風しんからあなた自身と周りの人を守るために
風しんの予防接種は、現在、予防接種法に基づき公的に行われていますが、その機会がなかった年代の方は抗体保有率が他の世代に比べて低く、風しん患者が多く発生しています。
風しんは感染力が強く、特に妊娠早期の妊婦が感染すると出生児が先天性風しん症候群（心疾患、白内障、難聴など）になる可能性が高くなります。

<問い合わせ先>
●●●●診療所

クーポン発送から、定期健診での抗体検査／予防接種までの対象者の想定行動プロセス



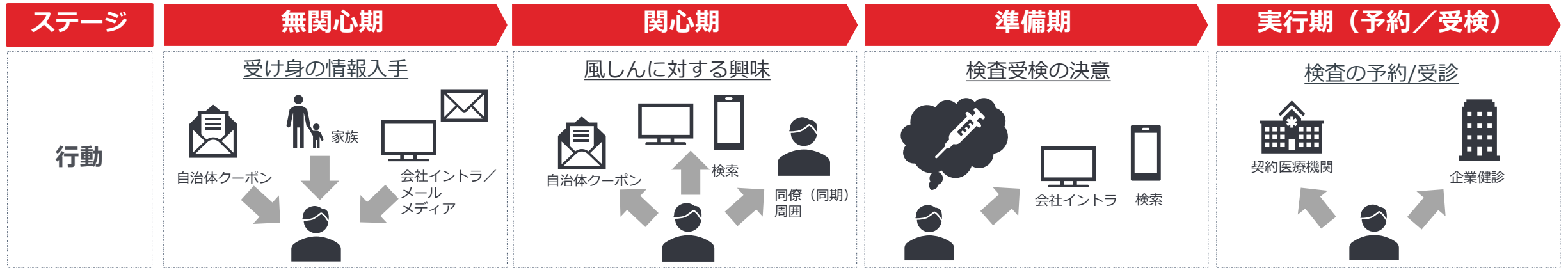
対象者の想定行動プロセスにおいて、抗体検査の受検率低下を招く可能性のある場面を仮定

風しん第5期定期接種 対象者の想定Journey（職場定期健診での抗体検査）



ステージ	無関心期	関心期	準備期	実行期（予約／受検）
行動	<p>受け身の情報入手</p>	<p>風しんに対する興味</p>	<p>検査受検の決意</p>	<p>検査の予約/受診</p>
行動詳細	<ul style="list-style-type: none"> 自治体クーポンの受け取り 各種メディア情報への接触 家族からの声掛け 	<ul style="list-style-type: none"> クーポン同封書類の読み込み 能動的な情報検索 同僚（同期）、周囲に聞く 	<ul style="list-style-type: none"> 検査機会／場所の選定 	<ul style="list-style-type: none"> 予約の事務手続き（電話/インターネット申し込み/申込書） 物理的な移動および受診
障壁/課題	<ul style="list-style-type: none"> ❑ 情報が伝わらない ❑ 無関心 ❑ 疾患に対する知識、情報不足 	<ul style="list-style-type: none"> ❑ 関心が維持できない <ul style="list-style-type: none"> - 必要な情報へのアクセスが分からない 等 ❑ 疾患に対する知識、情報不足 ❑ 忘却・失念 	<ul style="list-style-type: none"> ❑ 関心が維持できない <ul style="list-style-type: none"> - 予約が必要、クーポン券の再発行が必要 等 ❑ 疾患に関する知識、情報不足 ❑ 時間的制約／心理的負担 ❑ 忘却・失念 	<ul style="list-style-type: none"> ❑ 時間的制約／心理的負担 ❑ 疾患に関する知識、情報不足 ❑ 忘却・失念

対象者に想定される課題から、行動変容を促せるような対策を立案



対策案

【無関心期 → 関心期 → 準備期】

- 対象者には、定期検診の案内に、抗体検査の受検と、クーポン券の持参を呼び掛ける通知を同封（継続）
- ご家族への啓発・情報提供のため、健保組合と連携し、各自宅に送付される冊子に風しん第5期に関する記事を掲載

【無関心期 → 関心期 → 準備期 → 実行期】

- 対象者に、クーポン券利用を確認するアンケートを実施
（+クーポン券利用者には自身の行動を後押しした取組、未使用者にはその理由を確認）
- アンケート実施後はフィードバックレポートを作成し、アンケート送付対象者に送付（啓発、検査受検へのアクセス改善）
※アンケートのフィードバックレポートは、各事業場での安全衛生委員会でも紹介
- 2/4 「風しんの日」前後を啓発期間とし、社内イントラにてトップによる疾患啓発メッセージを発信
- 社内の健康経営担当部門と連携し、社員／職場への疾患教育機会を創出（風しんと予防接種に関するレクチャー）

【準備期 → 実行期】

- 各社内診療所で抗体検査／予防接種が受けられる体制を整備（継続）
- 予約や問合せがしやすくなるよう、各事業場診療所の問合せ先、予約の要否をアンケートのフィードバックレポートに記載

タケダにおける抗体検査促進および啓発の取組

抗体検査実施率（推定）

54.9%（2023.3月時点）

2021-2023

対象者へのアンケート実施
+ フィードバックレポート送付



2019～現在
健診案内時
クーポン持参リマインド



2022-2024

トップからのメッセージ
社内広報媒体での啓発
従業員向けイベントでのレクチャー 等

2023

健保組合冊子への啓発記事掲載



2023

アンケート未回答者対象
健診後面談等での個別確認

2019

2020

2021

2022

2023

2024

<実施目的>

社内の風しん第5期定期接種対象者への啓発および対象者であることの通知
クーポン券利用状況の確認（抗体検査実施率／抗体保有率の把握）
抗体検査の受検や対象者の行動に影響を与えた取組策の確認、対象者の認識の確認

<方法>

風しん第5期対象者宛に、安全衛生担当よりメールにて連絡

<形式>

Webアンケート

※アンケート実施目的を説明の上、結果の二次利用についても同意取得の上で実施

<制限：アンケート結果を読み取る際の注意点>

- ✓ アンケートを計4回実施する間には入退社があり、完全に同じ対象者のみの解析ではないことから、アンケート結果は推定値の域を出ない
- ✓ アンケートは各人が正直に回答しているという性善説に基づいて集計しており、複数回目のアンケートの数値は過大評価となっている可能性を排除できない

注；本アンケート調査は認識に関する実態把握と啓発を目的とした活動の一環として行われたものであり、学術的調査として計画・実施されたものではありません。

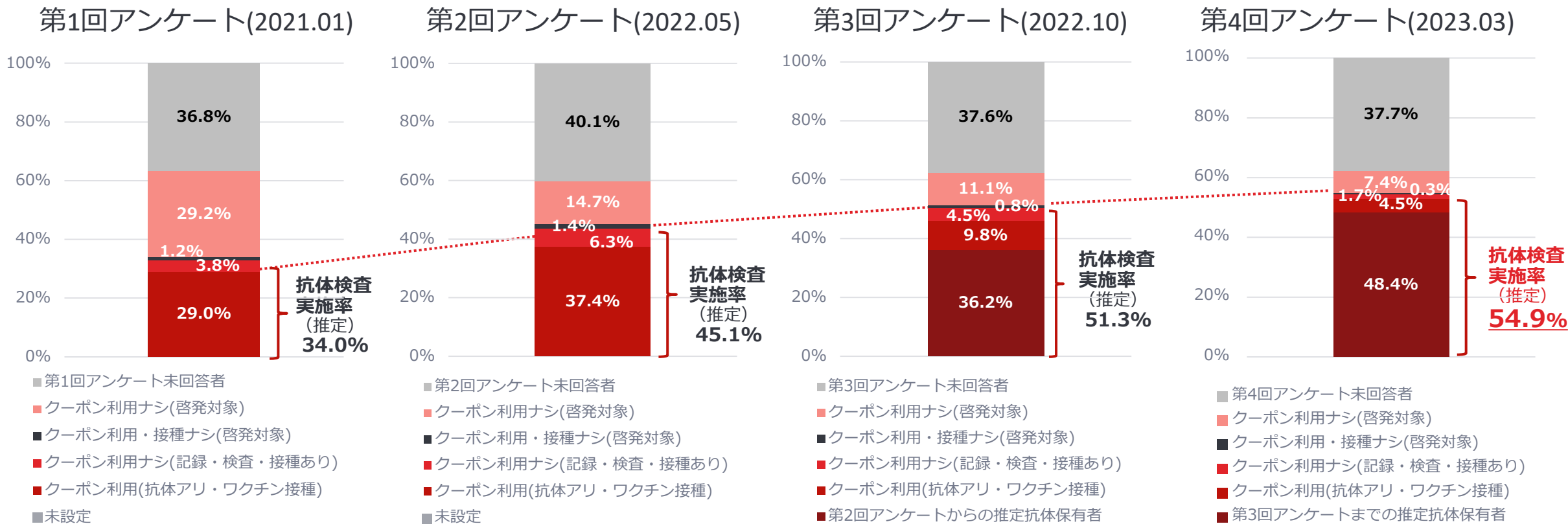
アンケート調査：設問内容

<設問（全7問）>

1. クーポン券を利用して抗体検査を受けたか？
➡ クーポン券利用のなかった方はここで回答を終了
2. クーポンを利用しようと思ったきっかけ（媒体）はあったか？
➡ 社内風しんプロジェクトによる啓発活動での取組策を含め、影響した要素を確認
3. どこで抗体検査を受けたか？
➡ 社内診療所／社外の医療機関
4. 抗体検査実施後、クーポン券を利用してワクチンを接種したか？
5. ワクチンはどこで接種したか？
➡ 社内診療所 / 社外の医療機関
6. 抗体検査実施後クーポン券を利用してワクチンを接種していない理由
7. 抗体検査を受けなかった理由

注；本アンケート調査は認識に関する実態把握と啓発を目的とした活動の一環として行われたものであり、学術的調査として計画・実施されたものではありません。

社内風しん第5期定期接種対象者の抗体検査実施率（推定）の推移



- ✓ アンケートには回答しつつも、クーポン券を使用していないと回答した群の比率がアンケートを重ねるごとに減っており、この層に対して啓発活動が効果を示している事が推察された。
- ✓ 第3回アンケート時点で抗体検査実施率（推定）は過半数を超え、第4回アンケート時点では54.9%であった。
- ✓ 無関心層とも受け取れる一定数のアンケート未回答者が存在し、自由意思を尊重した啓発・調査の限界が示唆される。

注；本アンケート調査は認識に関する実態把握と啓発を目的とした活動の一環として行われたものであり、学術的調査として計画・実施されたものではありません。

事業場別：クーポン券を利用しようと思ったきっかけ（第2回アンケート）



※アンケートは複数回答可で実施

	事業場A	事業場B	事業場C	事業場D	事業場E	事業場F	全社
厚生労働省のテレビコマーシャルなどのPR	13.6%	13.3%	18.6%	16.4%	21.7%	16.9%	17.0%
自主的に	4.5%	6.3%	15.7%	0.0%	3.9%	0.7%	6.8%
自治体からクーポンが届いたため	19.3%	12.0%	14.8%	14.8%	6.2%	6.6%	11.9%
第三者に勧められて	3.4%	1.9%	7.1%	1.6%	1.6%	0.7%	3.2%
健康診断時の案内	38.6%	36.7%	15.7%	34.4%	33.3%	43.4%	31.7%
社内イントラネットの記事	6.8%	13.3%	9.5%	9.8%	14.0%	10.3%	10.9%
安全衛生委員会からの情報発信	4.5%	3.2%	7.1%	16.4%	13.2%	11.8%	8.6%
前回のアンケート調査 ('21.01実施)	5.7%	4.4%	4.8%	3.3%	3.9%	4.4%	4.5%
その他	3.4%	8.9%	6.7%	3.3%	2.3%	5.1%	5.5%

55.6%

- ✓ のべ回答数で最も行動に影響を与えたのは『健康診断時の案内』（同封）で、事業場毎でも同じ傾向であった
- ✓ 全社で見ると啓発活動（赤文字）の影響を受けた方が過半数を超えており、啓発活動に一定の成果があった事がうかがえた
- ✓ 『健康診断時の案内』の比率が低くなっている事業場には社内診療所の設置がなく、クーポン券持参の案内が同封されていない方が多いことが要因だと推定された

注；本アンケート調査は認識に関する実態把握と啓発を目的とした活動の一環として行われたものであり、学術的調査として計画・実施されたものではありません。

風しん第5期 社内対象者アンケート（2回目）

- ✓ アンケート送付対象者：社内風しん第5期対象者（全員）
- ✓ アンケート回答率は59.9%
- ✓ 抗体検査を受けていない理由は「クーポン券の紛失、転居等」、「（風しん罹患の）記憶がある」、「コロナ禍で医療機関受診を躊躇」、「時間が取れない」
- ✓ 啓発目的で、フィードバックレポートには結果に加えて①～③の情報を記載
 - ① 罹患“記憶”はあてにならないこと
 - ② クーポン券の再発行/医療機関検索方法
 - ③ 風しん第5期対象者が利用できる社内診療所の抗体検査/予防接種実施状況と問合せ先を案内

風しん第5期 社内対象者アンケート（3回目）

- ✓ 3回目のアンケート送付対象者は、2回目の未回答者+クーポン券使用の予定があると選択した方
- ✓ アンケート回答率は41.1%
- ✓ 抗体検査を受けていない理由は、多かった順に、「（風しん罹患の）記憶がある」、「クーポン券の紛失」、「異動・転居・単身赴任（留守宅に送付されている）」、「時間が取れない」
- ✓ 罹患“記憶”に頼っている可能性を仮定し、①～③の解説・情報とともに**抗体検査の受検を呼び掛け**
 - ① 罹患“記憶”はあてにならないこと
 - ② クーポン券の再発行/医療機関検索URLへのリンクを共有
 - ③ 風しん第5期対象者が利用できる社内診療所の抗体検査/予防接種実施状況と、予約の要/不要、問合せ先を記載

注；本アンケート調査は認識に関する実態把握と啓発を目的とした活動の一環として行われたものであり、学術的調査として計画・実施されたものではありません。

タケダにおける抗体検査促進および啓発の取組



2021-2023

対象者へのアンケート実施
+フィードバックレポート送付



2019～現在
健診案内時
クーポン持参リマインド



2022-2024

トップからのメッセージ
社内広報媒体での啓発
従業員向けイベントでのレクチャー 等

2023

健保組合冊子への啓発記事掲載



2019

2020

2021

2022

2023

2024

目的

風しんの日に関連した社内啓発キャンペーンを行うことで、社員の風しんに対するAwarenessを向上させる

出稿

1. トップによる 全社メッセージ発信

- ◆ 発信日：2/1
- ◆ 媒体：社内イントラネット

「風しんの無い世界」の実現のために、今私たちができること

anzen_eisei
安全衛生

タケダの皆さん

2月4日は「風しんの日」です。風しんは「三日ばしか」とも呼ばれるウイルス感染症で、感染すると発熱や発疹、リンパ節の腫れ等の症状が起こります。症状は軽いものがほとんどで、無症状の場合もありますが、感染力が非常に強いので、感染したことに気づかないうちに周りの人に感染を広げてしまうことがあります。風しんが恐ろしいのは、妊婦が風しんに感染すると、生まれてくる子どもの目や耳、心臓、発達等に重い障がい（先天性風しん症候群、CRS）を引き起こす可能性があるためです。

風しんはワクチンで予防することができますが、日本では残念ながら数年毎に流行を繰り返しています。これは、過去の風しんの予防接種が女性や子どもから開始され、徐々にその対象範囲が拡大されたため、ワクチン接種を受ける機会が無く免疫を持たない成人男性の割合が大きいために一因と考えられています。実際に2018年から2021年の4年間に日本で風しんと確定診断された5,350例のうち、男性が80%を占め、ワクチンの接種記録が確認できない人が全体の92%を占めたというデータがあります。

- 風しん/抗体検査の啓発メッセージを全社メッセージとして掲載
- 風しん第5期定期接種対象者には同時にメッセージ内容をメール配信

2. デジタルサイネージ

- ◆ 出稿期間：2/4の前後1週間
- ◆ 媒体：各拠点（本社、工場等）のデジタルサイネージ

2月4日は「風しんの日」です

「風しんの無い世界」の実現のために私たちができること

妊婦さんが風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんに障がい起きる可能性があります

風しんはワクチンで予防できます

ワクチン未接種世代である**現在42歳～59歳の男性**（1962年4月2日～1979年4月1日生）は、現在第5期定期接種の対象です
まずは**抗体検査を受診してください**

詳しくは2月4日掲載予定のmyTakedaニュースをご覧ください

Better Health, Brighter Future



3. トップメッセージへのリンク

- ◆ 出稿期間：2/4の前後1週間

2月4日は「風しんの日」です

妊婦さんが風しんにかかると生まれてくる赤ちゃんに障がい起きる可能性があります

風しんはワクチンで予防できます

ワクチン未接種世代である**現在42歳～59歳の男性**は（1962年4月2日～1979年4月1日生）第5期定期接種の対象です。
まずは**抗体検査を受診してください**

Click here

バナー掲載

※クリックすると

1. トップメッセージにアクセス

- 社内イントラネットにて、疾患啓発メッセージと社内での抗体検査受検方法を掲載

- ✓ 健保組合の協力のもと、加入者宅に送付される「健保ニュース」に、風しん第5期定期接種をはじめとする成人の予防接種に関する記事を掲載
- ✓ 風しん第5期定期接種が2024年度までの有限であることや、抗体検査受検の推進、クーポン券を紛失した場合の対応などを記載

麻しん・風しん混合（MR）ワクチン

麻しん・風しん混合（MR）ワクチンは、麻しん（はしか）、風しんを予防するワクチンです。麻しん、風しんともに感染力が強い病気です。麻しんウイルスに感染すると、高热やせき、鼻水といったかぜのような症状、全身の発疹がおこります。風しんは、風しんウイルスの感染によりかぜのような症状とともに全身に赤い発疹、首のリンパの腫れなどがおこります。とくに、妊娠中の女性が風しんに感染した場合に赤ちゃんに重い障害が出る可能性があります*。事前のワクチン接種で流行をおこさないことが大切です。

※先天性風疹症候群

妊娠中の女性が風しんに感染すると、胎児が心臓病、難聴、白内障などを持って生まれる恐れがあります。先天性風疹症候群を防ぐためには、男性を含めて多くの方が予防接種を受けて風しんの流行をおこさないことです。女性は妊娠前に抗体の有無の確認と予防接種を受けておきましょう。また、妊娠を希望する女性と同居される方へも抗体検査や予防接種の助成がある場合があります。お住まいの自治体HPをご確認ください。



ご確認ください!!

風疹第5期定期接種の対象者：昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性

2024年度まで風しん抗体検査・ワクチン接種、無料

風しんの流行を防ぐため、過去の制度上、風しんの予防接種を受ける機会がなかった男性を対象に抗体検査とワクチン接種を無料で実施しています。まずは、抗体検査を受けましょう。抗体値が不十分な場合にワクチン接種が受けられます。クーポン券が届いていない方やクーポン券をなくされた方は、お住まいの自治体にお問い合わせください。

武田薬品健康保険組合 健保ニュース 2023 Vol.377 9月発行

https://www.takeda-kenpo.or.jp/system/data/etc/248/248_1.pdf (2024.1.11 access)

タケダにおける抗体検査促進および啓発の取組



抗体検査実施率（推定）

54.9%（2023.3月時点）

2021-2023

対象者へのアンケート実施
+ フィードバックレポート送付



2019～現在

健診案内時
クーポン持参リマインド



2022-2024

トップからのメッセージ
社内広報媒体での啓発
従業員向けイベントでのレクチャー 等

2023

健保組合冊子への啓発記事掲載



2023

アンケート未回答者対象
健診後面談等での個別確認

2019

2020

2021

2022

2023

2024

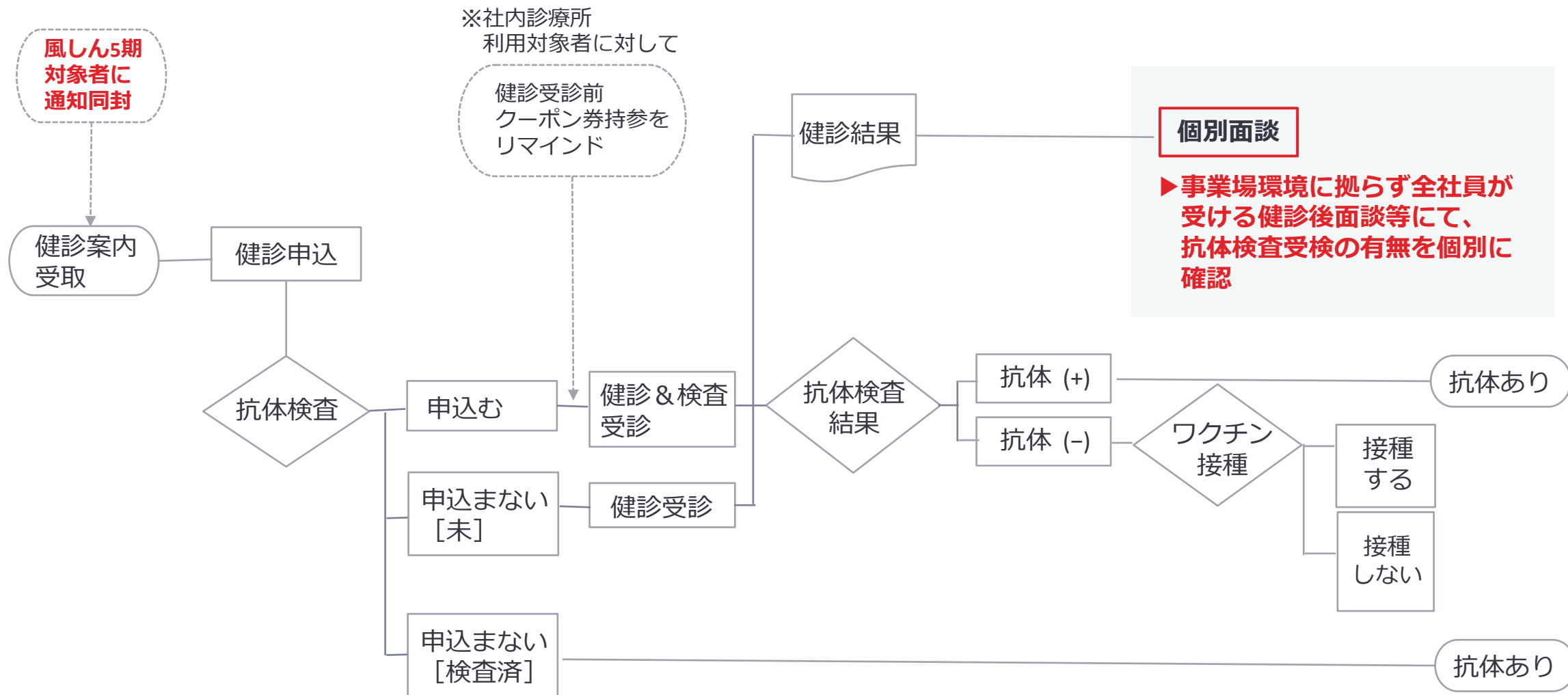
2023 健診後面談での個別確認 - 推進中 -



安全衛生
管理部門

産業医/
保健師

対象者



タケダについて

私たちのパーパス（存在意義）は、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献することです。
サイエンスや技術が進化しても、
揺るぎない価値観に基づいた私たちの志は変わりません。

人々の暮らしを豊かにする医薬品をお届けし、
社会に貢献するとともに、従業員が理想的な働き方を
実現できる環境づくりに努めています。



私たちの存在意義

世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献する

私たちが目指す未来

すべての患者さんのために、ともに働く仲間のために、いのちを育む地球のために。
私たちはこの約束を胸に、革新的な医薬品を創出し続けます。

私たちの価値観： タケダイズム

タケダイズムとは、まず**誠実**であること。それは**公正・正直・不屈**の精神で支えられた、私たちが大切にしている価値観です。
私たちはこれを道しるべとしながら、「1. 患者さんに寄り添い (**Patient**)
2. 人々と信頼関係を築き (**Trust**) 3. 社会的評価を向上させ (**Reputation**)
4. 事業を発展させる (**Business**)」を日々の行動指針とします。

私たちの約束

PATIENT

すべての患者さんのために

• 私たちは、倫理観をもってサイエンスの革新性を追求します。そして、人々の暮らしを豊かにする医薬品の創出に取り組みます。

PEOPLE

ともに働く
仲間のために

• 私たちは、理想的な働き方を実現します。

PLANET

いのちを育む
地球のために

• 私たちは、自然環境の保全に寄与します。

データとデジタルの力で、イノベーションを起こします

• データを活用して導き出された成果をもとに、もっとも信頼されるバイオ医薬品企業として、これからも変革し続けます。



グローバルなバイオ医薬品企業



グローバル本社

東京 日本橋

グローバルハブ

米国 マサチューセッツ州
ボストン地区 ケンブリッジ

約40 臨床試験段階にある
新規医薬品候補

グローバル拠点

約80 の国・地域

25+ 製造拠点

3 研究拠点

200+ 積極的な
パートナーシップ

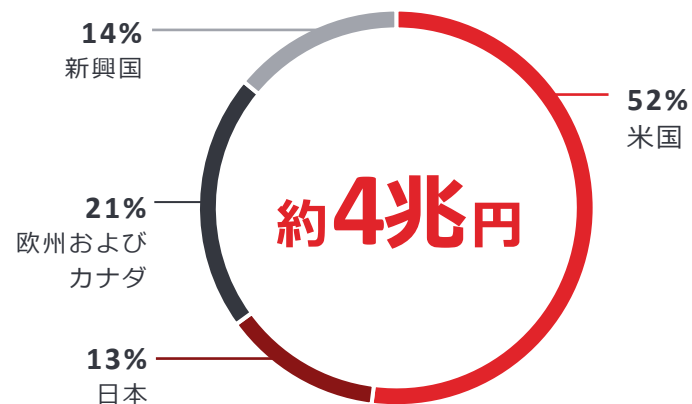
革新的なアイデアを実現するために

39カ国

および4地域での
TOP EMPLOYER® 認定

2023年6月時点（一部データを除く）

2022年度売上収益



2023年3月31日時点

約4兆円



約5万人

創業

1781年

大阪 道修町

従業員



Better Health, Brighter Future